

# 沖打越1号墳・沖打越中世墓現地説明会資料

三重県埋蔵文化財センター

## 2. 沖打越中世墓の調査成果

沖打越1号墳が造られてから約900年後の鎌倉時代後期、古墳の上には別のお墓がつけられました。鎌倉時代から室町・戦国時代にかけての約400年間に造られたお墓を「中世墓」と呼んでおり、沖打越1号墳の上にあるこの墓を「沖打越中世墓」と呼ぶことにしました。

発掘調査によって分かった沖打越中世墓のスタイルはつぎのようなものです。まず、小さな川原石に1・2文字づつお経を書いたもの（礫石経といいます）を陶器の甕に納めて埋め、その周囲を石で囲んだあと、その上に供養塔として五輪塔を立てました。これを「経塚」といいます。この経塚を中心に、陶器の壺を骨壺（蔵骨器）としたお墓や、小さな丸い穴を掘って火葬骨を納めたお墓（火葬骨埋納土坑）などが築かれています。中世墓の南斜面には焼けた坑（焼土坑）が2ヶ所あり、亡くなった人を火葬した「茶毘跡」と考えられます。

注目できるのは、礫石経のなかに書かれた文字がいくつか分かるものがあることです。文字には「(表)尊如/(裏)辻口」、「(表)盡/(裏)未」、「世」、「六」、「阿」、「言」、「朝」、「演」などがあります。数が少ないのでお経の名前はまだ分かりません。沖打越中世墓の経塚は13世紀末から14世紀初頭頃のもので、時期のわかる礫石経の資料のなかでは、全国的に見ても数少ない古い事例です。

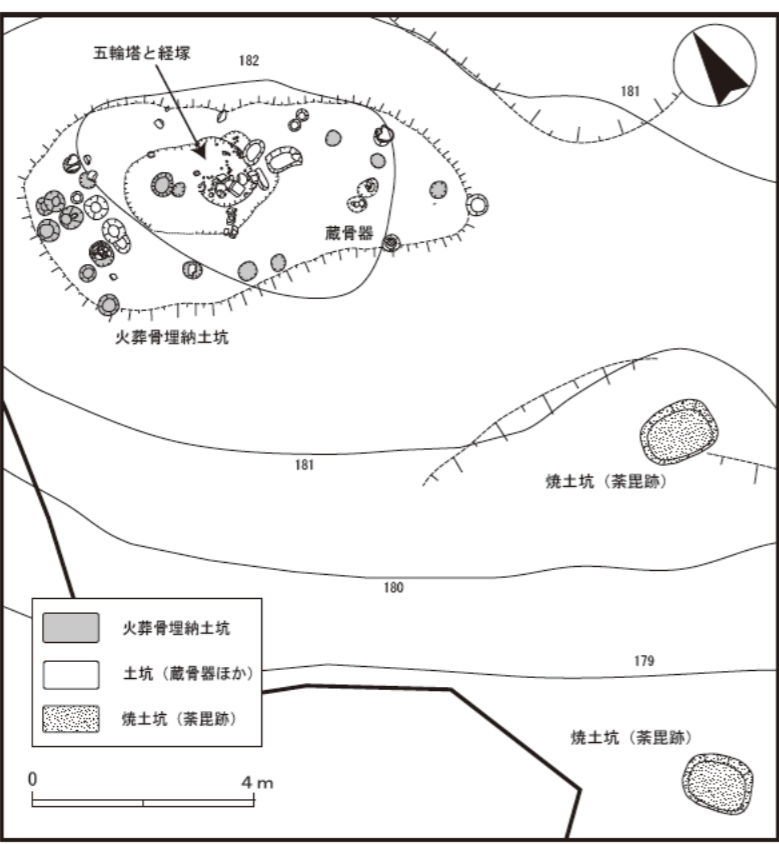


図4 中世墓の広がり



写真6 出土した陶器類



写真7 礫石経

調査遺跡名：沖打越1号墳・沖打越中世墓  
所在地：三重県伊賀市沖字打越  
原因事業名：平成22年度農免農道事業  
調査実施機関：三重県埋蔵文化財センター

## 1. 沖打越1号墳の調査成果

沖打越1号墳は、伊賀市沖字打越にあります。平成21年度の調査で新しく見つかったことから、「沖打越1号墳」と名付けました。

### 【古墳の形・大きさ】

古墳の形は、不確定な点が多いものの、造出し付き円墳の可能性が高いといえます。この場合、墳丘長は23mとなります。

### 【古墳の周溝】

古墳の東側では、周溝を検出しました。周溝の底からは円筒埴輪・土師器・鉄製品等がまとまって見つかりました。墳丘側から転落したような出土状況ですので、これらはもともと造出し部に供えられていた品々と考えられます。

### 【埋葬施設】

古墳からは2基の埋葬施設が見つかりました。2基とも棺の断面が半円形ですので、竹を半分に割ったような割竹形木棺を用いたと考えられます。



写真1 遺跡の全体

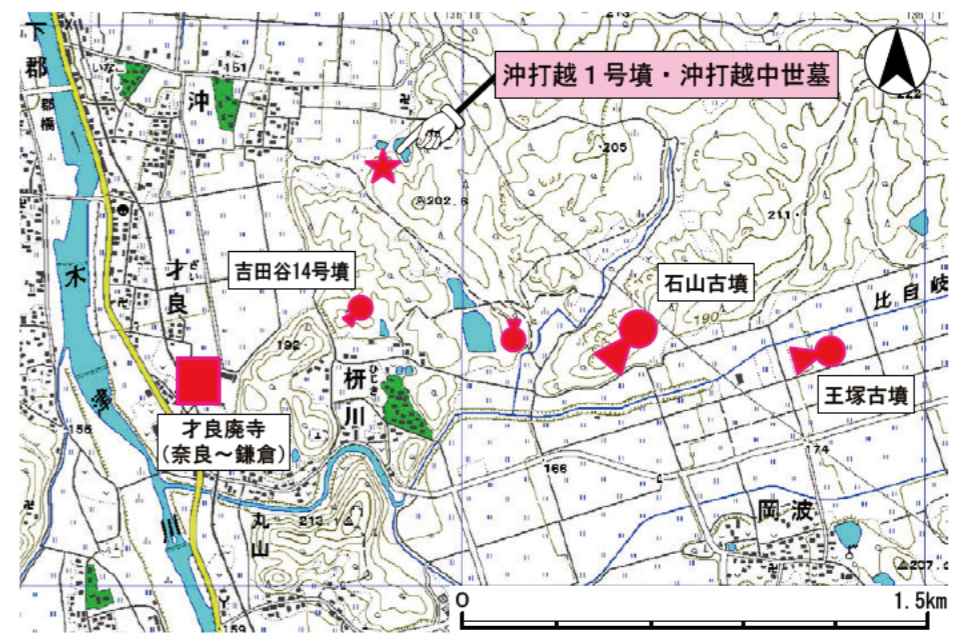


図1 遺跡の位置

【埋葬施設 - 北槨 -】

墓壇は北西-南東方向を主軸とした8.2 m×3.2 mのたいへん大きなものです。墳丘の頂部からの深さは1.45 mにもなります。割竹形木棺は6.55 m×0.7 mの大きさです。南側には木棺に沿うように、1.9 m×0.3 mの舟形の土坑が検出されました。

墓壇の埋土には2種類あります。ひとつは灰白色で墓壇の輪郭に沿うように検出されました。もうひとつは黄褐色で埴輪が混じります。こうした埋土の状況から、いったん灰白色土で木棺を埋めたものの、その後掘り返し、さらに黄褐色の土で埋めたと考えられます。たいへん特殊な事例といえるでしょう。

【埋葬施設 - 南槨 -】

北槨より後に設けられました。墓壇は3.7 m×1.5 mの大きさで、その中央に3.5 m×0.55 mの割竹形木棺がありました。棺の小口板は、長側板を挟むように据えられていました。

【その他】

北槨をとりまくように柱穴が4ヶ所以上見つかりました。柱の大きさ・傾きが揃っていないため、上屋を伴うとは考えにくいようです。

【遺物】

周溝等からは、円筒埴輪、土師器（小型の甕・小型丸底壺・高坏）、鉄鏃、砥石が出土しています。北槨からは黄褐色の埋土から鉄製鎌と刀子が出土しました。南槨には副葬品がありませんでした。

【まとめ】

沖打越1号墳の築造時期は、埴輪や土器から古墳時代中期初め（5世紀初め）です。沖打越1号墳の近くであり、たいへん有名な石山古墳よりもわずかに新しいといえます。石山古墳（伊賀市比自岐）や御墓山古墳（伊賀市佐奈具）、殿塚古墳（名張市新田）に葬られた首長を支えた人物がこの古墳に眠るのかもしれませんが。

なお、墓壇が大きいことや周溝からの出土品が豊富なことに対して、墓壇内の遺物があまりに少ないという特徴があります。また北槨は一度掘り返されたと考えられます。なぜ掘り返されたのでしょうか？謎が残ります。古墳時代の盗掘のほかにかいそうが行われた可能性も考えられます。このように、沖打越1号墳からは数々の成果と課題を得ることができました。



写真2 小型丸底壺・埴輪の出土状況



写真3 埋葬施設の様子



図2 沖打越1号墳の墳丘

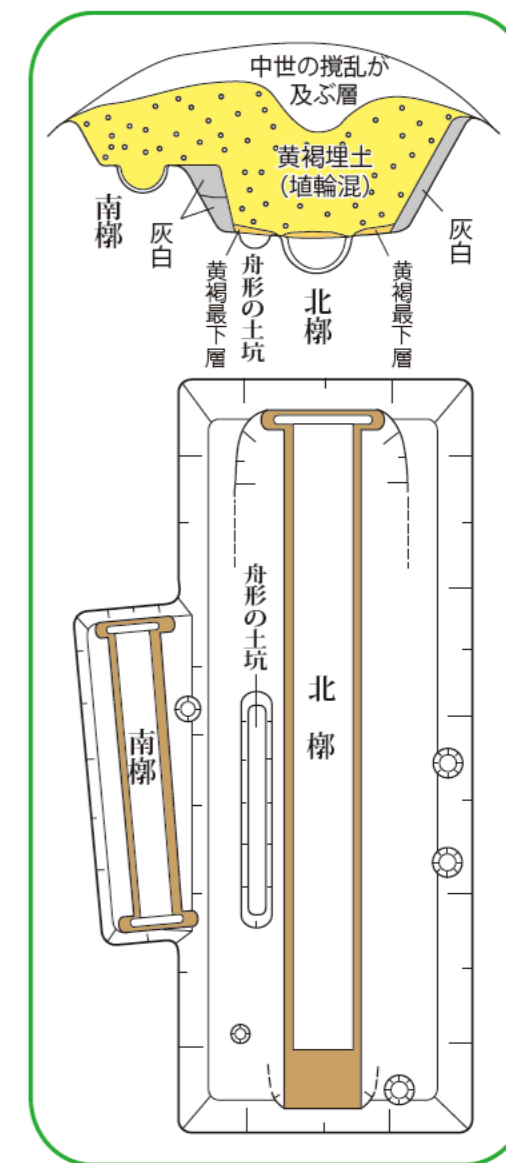


図3 埋葬施設の模式図



写真4 出土した埴輪・土師器（高坏）



写真5 出土した鉄製品